

POWER!

<https://www.yakuren.jp>

2025年
4月
vol. 93

令和7年(2025年)
4月20日発行
発行所・日本薬剤師連盟
〒160-0004
東京都新宿区四谷4-3
四谷トーセイビル2階
TEL (03) 3225-3100
FAX (03) 3225-3200
発行月・4月、7月、10月、1月

令和7年3月12日(水)、日本薬剤師会の課題と要望を理解していただくため、自由民主党本部において、自由民主党議員懇談会が開催された。

午後4時より開催され、新たに都道府県薬剤師連盟から推薦を受けた8名の国会議員の入会が承認され、松本純元議員が幹事長の特別顧問就任が決定された。続いて、「日本薬剤師会の課題と要望」について、協議と意見交換が行われた。

令和7年3月4日(火)、全国の現場で働く薬剤師をはじめ、若手薬剤師、女性薬剤師、薬学生・薬業関係者の約1000名がネットに集結し「薬剤師のミライを考える」1000人大会議が開催された。

Zoombのウェビナーを利用した初の大規模な交流を目的とした集会にもかかわらず、多くの薬剤師が参加した。当日は、司会者の進行の下、最初に参議院議員で薬剤師の本田あきこ議員が、就任から5年を超える国政での薬剤師としての活動、課題を感じていることや思いなどを話された。そして、今回は薬剤師・薬学生として3名の方に現地で参加いただき、慶應義塾大学特任研究員の日高玲於氏、薬局薬剤師2年目の佐々木里真氏、薬学部3年生の秋本さくら氏が登壇して本田

あきこ議員と意見を交わした。

本田あきこ議員に対し、日高玲

子議員は「薬剤師である政治家に

しかできない薬剤師のミライに向

けた取り組み」「現場の薬剤師との

連携」について、佐々木さんからは

「女性が多い薬剤師という職能に

おける女性のライフイベントとそ

の後のキャリア形成について」「さ

るほど意見・質問があ

り、薬剤師の

ミライに対する

参加の皆さんの意識の

高さを窺い知ることができる

た。

初めての取り組みでは

あったが、本田あきこ議員

の今までの活動や薬剤師議員として薬剤

師の活躍を支援したいという強い思いを

知ることができた貴重な機会となり、概

ね好評であった。このような企画は今後も実施される予定である。



●総会

午後4時より事務局長である本田頸子参議院議員の進行のもと、本人65名、代理74名が出席して、開催された。

鈴木俊一会長による開会挨拶の後、新規入会者8名が紹介され、これにより懇談

「3. 薬局DXの推進・実現のための支援」「4. 地域医薬品提供体制の構築・実現に向けた支援(安全・安心な医薬品提供システムの確立)」「5. 薬機法改正案の早期成立」「6. 医薬品供給不足問題の早期解消」「7. 敷地内薬局の適正化」の7項目が説明された。参加した議員から、

なされた。本田あきこ議員からは薬剤師や薬業に関することは薬剤師である議員が中心となって声を上げている点や、現場からの意見や取り組みは積極的に政治の場での活動に反映している点、自由民主党の女性局長としての立場や役割も踏まえた女性の社会における活発な意見交換が行われた。



二つのモットー

去年の春頃からの自動車学校で原付免許講習の講師を始めました。県の公安委員会の承認を取れば講師になりますが、その前に自動車学校で学科についての復習をみつかり受けないとなりませんでした。

原付免許は筆記試験、適性検査の合格だけではなく、自動車学校で実技一時間、座学一時間の講習を受けないと免許証がもらえません。実技試験がなく初心者による事故が多いことからこのようなシステムになったと思われます。また、昔はなかったのですが「原付一段階右折」の道路標識がある交差点もしくは「片側三車線以上」の信号機がある交差点において、原付は二段階右折をしなければならなくなっています」と課題解決に向けた理解を感じられる発言があり、また他の出席議員からも多く意見や質問が寄せられ、活発な意見交換が行われた。

風力計



日本薬剤師連盟
副会長 大澤 泰輔

う形式で行われたが、最も多かつた質問は、医薬品医療機器等法に関するOTC類似薬に関する意見であった。合計100件に迫

るほど意見・質問があ

り、薬剤師の

ミライに対する

参加の皆さんの意識の

高さを窺い知ることができる

た。

その後、Web参加の皆さんと

の間で質疑応答が行われた。テキ

ストベースでの質問への回答とい

う形式で行われたが、最も多かつた質問は、医薬品医療機器等法に

関してやOTC類似薬に関する意見であつた。

このように多くの質問が行われた。

これまでの活動や薬剤師議員として薬剤

師の活躍を支援したいという強い思いを

知ることができた貴重な機会となり、概

ね好評であった。このような企画は今後も実施される予定である。

これからも①本田あきこ後援会活動を通じて我々の目標を達成する②自動車学校は免許証を取得する所ではなく身を守るために安全運転を教える所である。モットーに尽力していくと思っています。

JPLフォーラム2025開催される!

Japan Pharmacist Ladies

令和7年2月9日(日)午前11時よりAP日本橋においてJPL(Japan Pharmacist Ladies)フォーラムが『続・20万本の花を咲かせましょう』をテーマに開催された。

福森総務の司会のもと、初めに岩月会長が挨拶され、続いて来賓として神谷政幸参議院議員、渡邊美知子日本女性薬剤師連盟会長より挨拶をいただいた。

特別講演は本田あきこ参議院議員より、熱のこもった30分間の講演が行われた。

次に橋本常任総務より「セブンシスターズの活動報告」、大原副幹事長よりスマートループディスカッション(SGD)の「趣旨説明」があり、参加者である都道府県薬剤師連盟の女性代表はそれぞれブロック別のグループに分かれて、SGD1として『2024の成果と反省』について50分間(昼食、グループごとの写真撮影含む)、続いてSGD2『若手薬剤師フォーラム2024参加者との連携について』55分間ディスカッションが行われた。

10分間の休憩を挟んで、大澤副会長による「後援会名簿収集の現状について」、竹本総務による「本田あきこ知名度アンケート説明及び趣旨説明」があり、SGD3『本田あきこ知名度アップ作戦』として80分間のディスカッションを行い、各グループ5分の持ち時間で発表が行われ、川田幹事長に総評をいただいた。

その後、本田あきこ参議院議員の決意表明、セブンシスターズによる力強い掛け声、丹羽副会長の挨拶で閉会となった。



続・20万本の花を咲かせましょう!! ~47の本田あきこ物語~



